

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立平野小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	平野区
学 校 名	大阪市立平野小学校
学 校 長 名	是澤 憲伺

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立平野小学校では、第6学年 90名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立平野小学校の結果概要

○国語・算数の平均正答率

国語 ５４％【大阪市－５.０ 全国－６.９】 算数 ４９％【大阪市－７.０ 全国－７.４】

国語・算数ともに大阪市・全国平均を下回った。

○国語・算数の平均無解答率

国語 ３.１％【大阪市 ２.８ 全国 ３.４】 算数 ４.５％【大阪市 ２.８ 全国 ３.２】

国語・算数ともに大阪市平均より高くなっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

- 「話すこと・聞くこと」では、平均正答率が５８.９％で大阪市平均・全国平均を４ポイント以上下回った。
 - 「書くこと」では、平均正答率が４１.１％で大阪市平均・全国平均を３ポイント以上下回った。
 - 「読むこと」では、平均正答率が６６.７％で大阪市平均・全国平均を０.７ポイント以上上回った。
 - 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、平均正答率が５４.７％で大阪市平均・全国平均を７ポイント以上下回った。
- ➡学びの礎となる「知識・技能」「話すこと・聞くこと・書くこと」の力の定着を図る指導の工夫が必要である。

【算数】

- 全ての領域において、大阪市平均・全国平均を大きく下回った。
 - 「変化と関係」の領域では平均正答率が３０.０％で大阪市平均・全国平均を１０ポイント以上下回った。
 - 「データの活用」の領域では平均正答率が４５.３％で大阪市平均・全国平均を３ポイント程度下回った。
 - 「知識・技能」の観点の設問で平均正答率が全国平均を上回るものが複数あった。
- ➡「思考・判断・表現」の定着を図った上で、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る必要がある。

質問調査より

- 「自分にはよいところがあると思いますか」→最も肯定的回答５０.０％【全国＋６.４】
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」→最も肯定的回答８５.９％【全国＋４.８】
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」肯定的回答９３.５％【全国＋１.０】
- ➡「自己肯定感」や「人を大切にすること」に関する設問において肯定的な回答をする児童の割合が全国平均を上回った。
- 「学校の授業時間以外に、１日当たりどれくらいの時間勉強しますか」→２時間以上１５.２％【全国－６.４】
- ・上記質問に対して３０分より少ないと回答した児童の割合４８.９％【全国＋２８.７】
 - ・平日にスマートフォン等でSNSや動画視聴を４時間以上する児童の割合が３１.５％【全国＋９.６】
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」→最も肯定的回答３０.４％【全国－１０.１】
- ➡学習面・生活面に関する設問において全国平均と大きく差の出た項目があった。

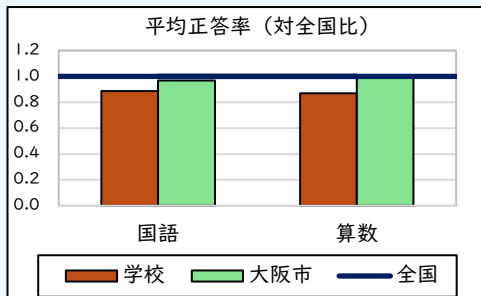
今後の取組（アクションプラン）

- 国語科では、付けたい力を明確にした授業づくりを目指す。主体的に学習に取り組むことができる環境を整備して、児童一人一人が思いや考えを表現できるよう授業改善に取り組む。また学校図書館の活用を進め、児童にとって本がより身近な存在になるように読書習慣の定着にも取り組む。
- 算数科では、「思考・判断・表現」の力の育成を図る。授業の中で、児童自らが日常の事象の中から問題を見出す・日常生活や社会の事象を数理的に捉える・情報を見出し正しく判断する・解答にいたるまでの過程で自分の考えを数学的表現を用いて記述するといった数学的活動を意識的に設定する。
- 健康教育を推進し、児童や保護者の健康意識の向上を図る。児童が、睡眠・食事・運動の重要性を理解して生活に取り入れることができるよう保護者への啓発活動も続けていく。
- 放課後学習（平子屋）や朝学習、宿題や自主学習等で各児童の実態に応じた課題に取り組み、個別最適な学びの実現を目指す。
- 今後も人権教育の推進を通して、学校・家庭・地域が連携しながら、児童の自尊感情や自己肯定感を高める教育を継続していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

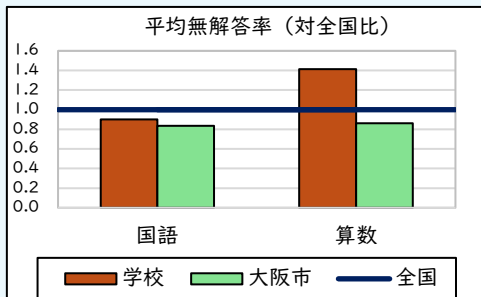
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	54	49
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



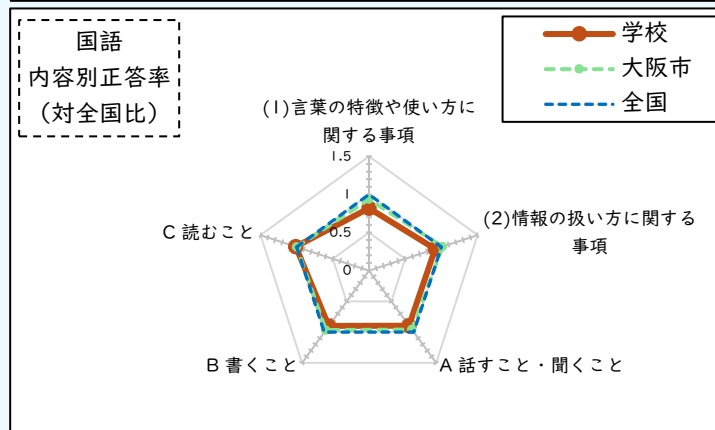
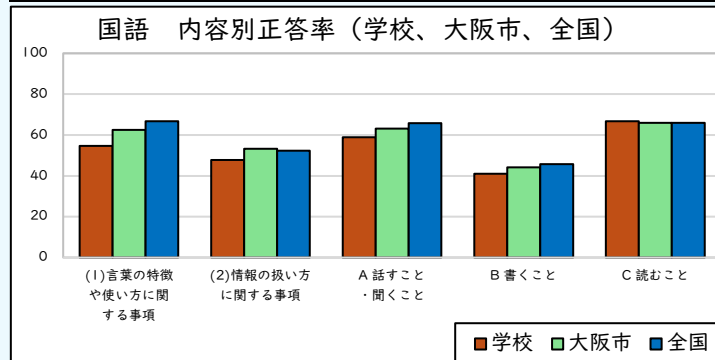
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.1	4.5
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



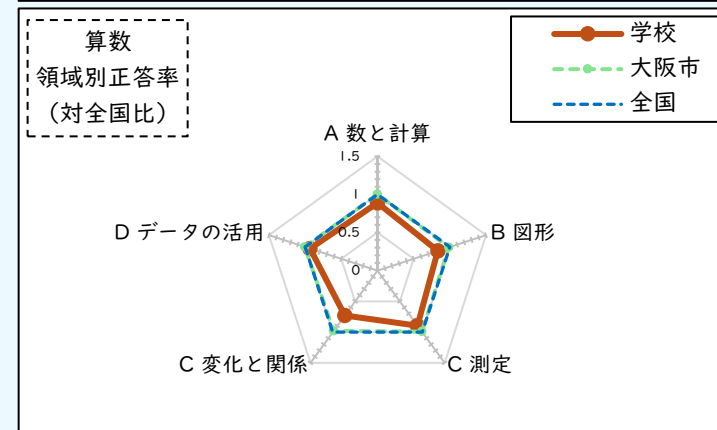
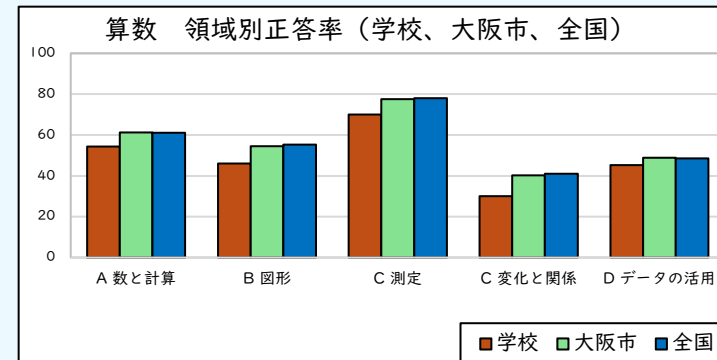
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	54.7	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	47.8	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	58.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	41.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	66.7	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	54.3	61.2	61.1
B 図形	4	46.1	54.5	55.3
C 測定	1	70.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	30.0	40.3	41.1
D データの活用	4	45.3	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

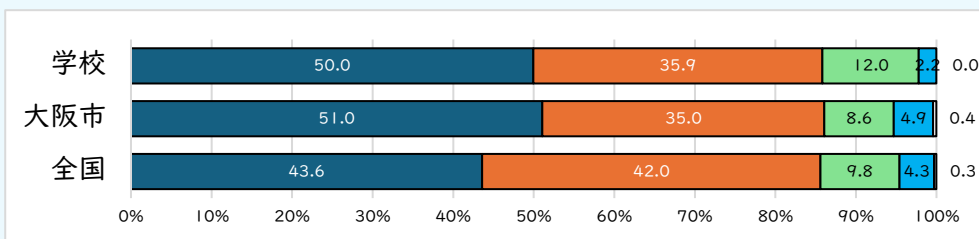
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

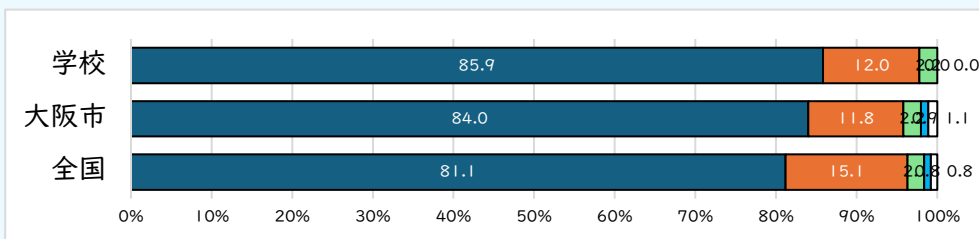
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



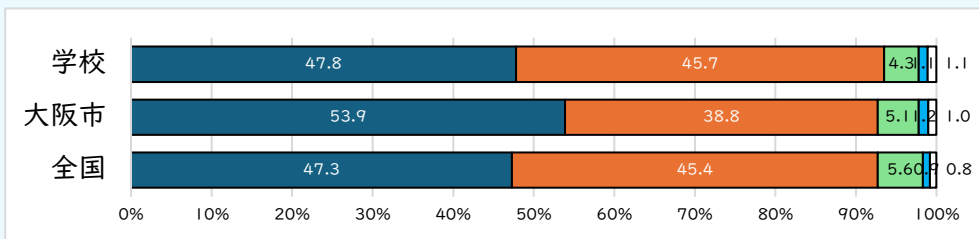
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



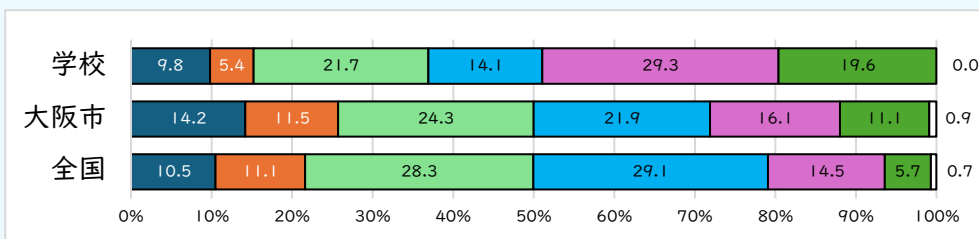
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか
------	-----------------------



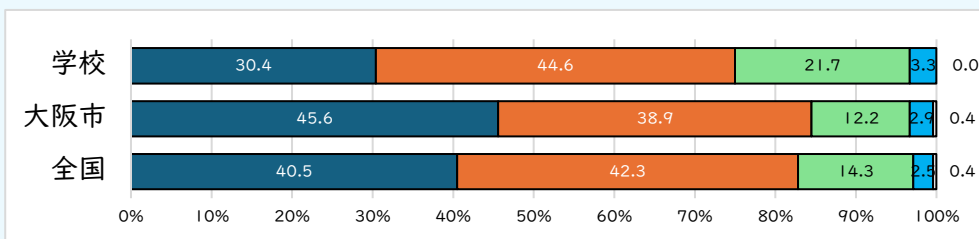
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
------	--



- 1 3時間以上
- 2 2時間以上、3時間より少ない
- 3 1時間以上、2時間より少ない
- 4 30分以上、1時間より少ない
- 5 30分より少ない
- 6 全くしない

(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
-----	--------------------



- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

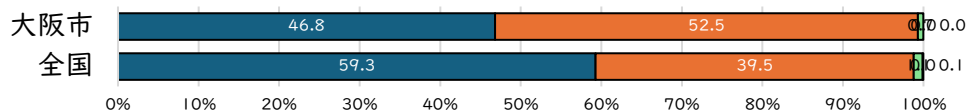
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

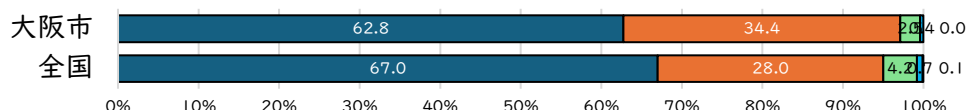


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

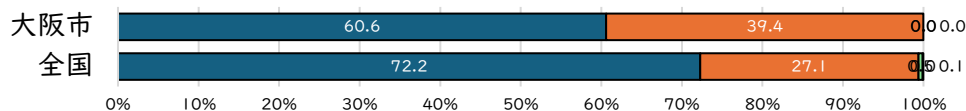


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 1 そう思う

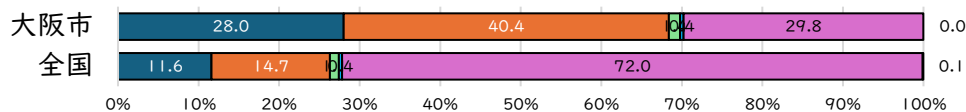


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(75)

学校では、調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

【学校の回答】 1 十分に行っている

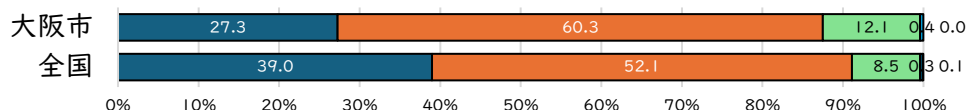


1 十分に行っている
2 どちらかといえば、行っている
3 あまり行っていない
4 行っていない
5 該当する児童がいなかった

(82)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった